

## 【抗議声明】

2012年7月21日

アメリカ大統領 バラク・オバマ 殿  
内閣総理大臣 野田佳彦 殿  
外務大臣 玄葉光一郎 殿  
防衛大臣 森本 敏 殿  
沖縄及び北方対策担当大臣 川端達夫 殿

福島県保険医協会 第1回理事会

福島県福島市御山字中屋敷 96(〒960-8252)

Tel024-531-1151 FAX024-531-1153



# 危険な米軍輸送機オスプレイの配備を撤回せよ

日米両政府は、沖縄県民・山口県民・国民の強い反対を無視して、米海兵隊の垂直離着陸機 MV22 オスプレイの岩国基地（山口県岩国市）への搬入、沖縄・普天間基地への配備を強行しようとしている。

オスプレイは、開発段階から何度も墜落事故を引き起こし、今年4月にモロッコでの墜落事故で2名が死亡したのに続き、6月にはアメリカのフロリダ州で墜落するなど、これまでに少なくとも36名が死亡するなど墜落事故が頻発している。6月26日に防衛省が公表したアメリカの情報によるとオスプレイの事故率（10万飛行時間当たり）は、13.47で、高い事故率といわれる垂直離着陸機 AV8B ハリアー（6.76）の2倍に上ることが明らかになる等、欠陥機であることが明白となっている。

事故の原因が十分解明されていないにも関わらず、周囲に民家や学校、保育園、病院などが密集している、「世界一危険」な普天間基地にオスプレイを配備することは言語道断である。

オスプレイ配備が強行されれば、沖縄本島だけでなく周辺離島の住民も危険にさらされることになる。さらに、オスプレイは低空飛行訓練を、東北地方（2ルート）、北信越（1ルート）、近畿・四国（1ルート）、中国地方（1ルート・検討中）、九州（1ルート）、沖縄・奄美（1ルート）の合計6ルートを実施予定としており、墜落事故の危険は全国に広がることとなる。

私たちは国民の命と健康を守ることを使命とする医師の団体として、沖縄県民・山口県民・国民の声を無視し、国民の命を危険にさらすオスプレイの配備に強く抗議し、撤回を強く強く求めるものである。